

# 令和7年度 大東小グランドデザイン 学校経営・運営ビジョン

## 教育目標

自ら考え、正しく判断し、実践力のある人間性豊かな児童を育成する

○ 自ら気づき 行動する子【徳】 ○ 進んで考え 学び合う子【知】 ○ からだをきたえ がんばり続ける子【体】

### 教師の姿

・寄り添う教師  
・子どもと楽しむ教師  
・支え合い、磨き合  
い、高め合う教師

### 学級の姿

・居心地のよい学級  
・規律のある学級  
・認め合い、助け合  
い、励まし合う学級

どの子も「学校に来て楽しかった。また、明日も学校に行きたい。」と思える学校  
安心・安全な学校【心づくり】 一人ひとりが生かされる集団【仲間づくり】 成就感・達成感が得られる授業【授業づくり】

## 共通実践

互いのよさを認め合いながら、助け合い、自ら行動できる子ども

進んで考え、友達と考えを伝え合いながら、学び合う子ども

自ら健康や安全に気をつけ、進んで体をきたえ、

### ■ 自他のよさに気づき、認め合い、助け合う集団づくり

- ◎「よさ」を見つける目を育て、「ありがとう」の感謝の気持ちを認め合う指導
- ◎学級活動の話し合い活動や係活動を通した集団づくり
- ◎望ましい集団づくりに向け、QUTESTの結果を生かした意図的なはたらきかけ
- ◎くつそろえ、気持ちのよい挨拶、返事と場に応じた言葉遣いの指導
- ◎心を耕す読書の日常化の指導
- ◎道徳の時間の充実と家庭と連携した「道徳の日」の推進

#### 数値目標

【学校が楽しい】児 95%  
【あいさつや返事ができた】児 90% 保 85%  
【友達と助け合った】児90%

### ■ 主体的に学び合う授業づくり

- ◎子どもも教師も授業を楽しむ協同的な学びの推進による授業改善
  - ・学びのデザイン  
ジャンプのある課題と学習形態(ペア・4人グループ)の工夫  
心を揺さぶられる教材との出会い 教科の本質に迫る課題
  - ・学びのコーディネート  
個の考えをつなぐ、深める意図的なはたらきかけの工夫  
「きく」「つなぐ」「もどす」つなぎ手になる教師の役割の充実
- ◎学びを支える基盤づくり
  - ・学びに向かう力の育成(学習習慣・学習訓練の徹底)
  - ・授業との連携を図った家庭学習の充実(自主学習)
  - ・読書の日常化と家庭学習への位置づけ
- ◎特別支援教育の充実
  - ・個別の支援計画・指導計画の見直しと活用
  - ・自立活動を柱とした課題克服に向けた指導の充実

#### 数値目標

【学習内容がよくわかった】児 95%  
【話し合ったり発表したりした】児 90%  
【たくさん本を読んだ】児80% 保45%

### ■ 心も身体もたくましい自分づくり

- ◎家庭と連携したセルフマネジメント力の育成
  - ・早寝・早起き・朝ご飯の推進と自分手帳の活用
  - ・メディアコントロール力の育成と家読の推奨
- ◎目標を持たせ、ひたむきに取り組んだことを認め、ほめることによる諦めない心の育成
- ◎体力向上の推進
  - ・教科体育の充実  
身体づくりプログラムの継続と運動時間の確保
  - ・わくわくタイムや外遊びによる運動の日常化
- ◎危険を予知し、様々な危険から自分を守る力の育成

#### 数値目標

【健康に気をつけて生活できた】児 90% 保85%  
【進んで運動に取り組んだ】児 90% 保 75%  
【ネット利用の時間を守った】児80% 保55%

### ■ 地域とつながり、地域と共にある学校

- ◎積極的な情報発信
  - ・学校・学年だよりの発行
  - ・HPの配信
- ◎地域との積極的な関わり
  - ・地域教材の積極的活用

### ■ 保護者・地域から信頼される学校

- ・丁寧で誠意ある対応
- ・LEBERによるメール配信の活用
- ・教育公務員としての倫理観の遵守
- ・地域行事への協力

### ■ 働きやすい学校

- ◎働き方改革の推進
  - ・事務整理の時間の確保
  - ・ICTの効果的活用
- ◎同僚性をもとした「チーム大東」による取り組み

### ■ つながる学校

- ◎関係機関と連携、協同しながら子どもを育む
- ◎子どもの成長を見通した、幼・小・中の連携の推進
  - ・中学校へのスムーズな接続(小・中連携)
  - ・仲間づくり、人間関係づくり(小・小連携)
  - ・小学校へのスムーズな橋渡し(幼・小連携)